

事務事業名		市民文化会館自主事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 21 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																									
	施策名	30 地域文化の伝承と創造																											
	基本事業名	02 芸術文化の振興																											
根拠法令				予算科目 会計 01 款 02 項 01 目 10 事業 02																									
所属	部課名	企画政策部 市民文化会館																											
	係名																												
	電話内線	0192-26-4478																											
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ○自主事業実行委員会の開催 (会議案内文書・資料・会議録末書の発送、会議資料作成、会議運営、議事録作成、報告書作成ほか) ○自主事業の企画・実施 (実施方針の検討・作成、年間計画の作成、助成・共催申請手続き、実現可能性の検討、コスト計算、企画詳細検討、交渉、契約、各所との調整、サポート組織等との調整、宣伝広告、チケット販売、事業運営、アンケート、評価ほか) ○翌年度自主事業の検討																													
全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計 (B)		0																											
トータルコスト(A) + (B)		0																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ○自主事業実行委員会の開催 ○自主事業の開催 ○翌年度事業の検討 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) ○自主事業実行委員会の開催 ○自主事業の開催 ○翌年度事業の検討 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 芸術文化に親しみ、交流を促進し、会館利用者人口の拡大を図る。 結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 芸術文化活動を行ってもらう。		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 自主事業実行委員会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 自主事業実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 自主事業実行委員会開催回数	回	イ 自主事業実施回数	回	ウ	
		名称	単位							
		ア 自主事業実行委員会開催回数	回							
		イ 自主事業実施回数	回							
		ウ								
		対象指標 (対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 人口	人	キ		ク	
		名称	単位							
		カ 人口	人							
		キ								
		ク								
成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 自主事業に参加した人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 自主事業実行委員会延べ出席者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 自主事業に参加した人数	人	シ 自主事業実行委員会延べ出席者数	人	ス			
名称	単位									
サ 自主事業に参加した人数	人									
シ 自主事業実行委員会延べ出席者数	人									
ス										

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円				804	19,163	14,817
			一般財源	千 円				14,707	12,853	11,348
	事業費計 (A)		千 円	0	0	0	15,511	32,016	26,165	
	人件費	正規職員従事人数	人				2	2	3	
		延べ業務時間	時 間				800	3,800	5,400	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	3,200	15,200	21,600	
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	0	0	0	18,711	47,216	47,765
活動指標			ア	回				33	41	26
			イ	回				11	18	19
			ウ							
対象指標			カ	人				42,158	41,334	40537
			キ							
			ク							
成果指標			サ	人				6,762	11,287	8571
			シ	人				414	441	293
			ス							

事務事業ID	0362	事務事業名	市民文化会館自主事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市民文化会館が、地域文化創造の拠点として、平成20年11月15日に市立図書館との複合施設として開館したことに伴い開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

市民文化会館は、市民との協働により運営していくこととしており、平成17年度に公募により設立した企画運営委員会が中心になり、プレイベントの開催等を通じて市民要望を把握するとともに、自主事業の難しさや楽しさを体験するなど、ノウハウや経験を蓄積してきた。開館を1年後に控えた平成19年度には、より実践的な組織として自主事業実行委員会を立ち上げ、開館後の自主事業のあり方等を検討し、開館後も継続してゆくことで現在に至っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

事業ごとに行っているアンケートでは、様々な芸術文化鑑賞機会を提供されることに対して多くの市民から感謝されているが、より多く多様な芸術文化事業を望む声が多い。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市民が芸術文化に親しみ、交流することは、芸術文化の振興に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 指定管理者制度を導入して実施すると、事業の効率性や採算性のみを重視した事業運営をするおそれがあり、広く人づくりのための事業を行うという会館の設置目的が達成されない可能性があるため、市が当面事業運営に関与することは妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市民に芸術文化に親しみ、交流する機会を提供し、芸術文化に取り組んでもらうことは、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ アウトリーチなどの地域の芸術文化に対する興味関心を高める取り組みや、プレイガイドを市内のみならず県内類似施設や人口集積地域にも設置すること、大船渡倶楽部へのチケット販売促進などに取組むことで、成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 興行会社等からの事業提案(イベント買取)だけによる事業企画では、芸術文化活動をはじめさまざまな活動に主体的に参画する市民を育てるという、市民文化会館の使命が果たせない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 現在、大船渡市芸術文化協会が主催して芸術文化鑑賞事業を実施している。 ☒ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 大船渡市芸術文化協会の事業との連携については、今後、協会や教育委員会と協議していく必要がある。 ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) コスト削減策としては、各種財団等による助成制度の活用や企業等との共催事業の実施などが考えられる。会館職員及び自主事業実行委員が効果的な事業運営の手法や企画立案の技術を身に付け、魅力ある事業を継続していくこととする。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 人件費の削減策として、専門的知識・技術・経験を要する分野について、嘱託職員の雇用、業務委託により人件費の抑制が可能となるほか、将来的には、職員の技能や知識向上や、市民ボランティアの活用によりコストの抑制を図る余地はある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 自主事業の参加者には、一定の金銭的負担をしてもらうことにより、受益と負担の公平性は確保される。

事務事業ID	0362	事務事業名	市民文化会館自主事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 自主事業実行委員会を中心に、開館直後においてリラスホールに広く親しんでもらうよう、テーマを工夫して自主事業を展開したことにより、多くの市民の来場を促すことができた。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業企画専門の嘱託職員を中心に、自主事業実行委員会の企画立案能力の向上を図るとともに、効率的な事業運営を目指すほか、助成制度等も積極的に活用し、幅広い事業展開を図る。震災の影響により、大幅な事業の見直しを図らなければならないが、市民参画を図り芸術文化の振興に努めていく必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民文化会館長
-------	---------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 催事の実施にあたっては、集客数を増加させることは、大きな目標であるが、単に興業会社からの事業提案によるだけの企画では、市民が主体的に参画する活動に結び付きにくいので、今後の市民劇場などの立ち上げによる活動が望まれるところである。また、助成制度も、今後さらに活用するように取り組むべきである。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今、少しずつ動きのある市民劇場の立ち上げが、今後、どのように発展していくかが、市民の主体的な活動につながっていく大きな契機になるのではないかと考えられる。また、三井住友財団の支援による助成制度なども今後も活用していくべきである。	(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
